

# ふるさと創造戦略補助金「ふるさと創造事業」の企画提案書の作成例

## 1. 企画提案書（様式第1号）作成例

様式第1号（第4条関係）

令和××年×月×日 ※1

海陽町長 様

提案者 住所 海陽町〇〇字〇〇××番地  
団体名 〇〇〇〇〇〇  
氏名 △ △ △ △ 印

企画提案書

海陽町ふるさと創造戦略補助金交付要綱第4条の規定により、次のとおり関係書類を添えて提出します。

記

1 事業名 令和2年度ふるさと創造事業（××××××××××） ※2

2 関係書類

- (1) 事業計画書（別紙1）
- (2) 収支予算書（別紙2）
- (3) 定款、規約又は会則等の写し
- (4) 構成員が確認できる資料（別紙3）
- (5) 誓約書（別紙4）

※1 募集期間内の日付けを記載してください。

※2 実施しようとする事業に任意の名称を付けてください。（以後、本補助事業の名称として使用します。）

## 2. 事業計画書（別紙 1）作成例

(別紙 1)	
平成 31 年度海陽町ふるさと創造戦略補助金「ふるさと創造事業」事業計画書	
1. 申請者概要	
団体名：○○○○○○	代表者氏名：△△△△
住所：海陽町○○字○○××番地	
電話番号：○○○○○○※1	ファックス：○○○○○○※1
担当者氏名：○○○○○○※1	e-mail：○○○○○○※1
2. 事業内容等	
(1) 事業名	令和 2 年度ふるさと創造事業（ ×××××××××××× ）
(2) 事業概要	<p>(事業全般について記載してください。)</p> <p>※できる限り具体的に、事業の概要について記載してください。写真等、別資料を付けていただくことでより伝わりやすくなります。</p> <p>例：海陽町の自然を保全し、素晴らしさを全国に発信することで、観光客の誘致を行うための団体を立ち上げ、町全体の活性化に繋げる。海陽町の観光客が求めるような美しい場所をまとめ、写真付きのマップを作成する。観光協会窓口及びホームページにマップを置いてもらい、多くの人に手に取ってもらう。さらに、観光アドバイザーの育成を行い、観光客の案内も可能な体制を作り、遊びに来ていただいた方々に海陽町の自然を満喫してもらう。etc</p>
(3) 本事業を行うに至った背景・課題	<p>(本事業を行う理由として挙げられる町の課題等について記載してください。)</p> <p>※本事業を行うに至った背景・課題について整理し、どのような事情や理由があり、事業を行うに至ったかについて、筋立てて記載してください。(文字数制限無し)</p>
(4) これまでの取り組み	<p>(事業全般を通じてこれまでの取り組みについて記載してください。)</p> <p>※本事業を行うに至るまでに、これまでどのような取り組みを行ってきたかについて整理し、筋立てて記載してください。(文字数制限無し)</p>
(5) 本年度の取り組み・目標	<p>(本年度実施する取り組み・目標について記載してください。特に目標については数値指標を用いるなど、具体的な目標設定としてください。)</p> <p>※今年度（補助対象年度）に実施する取り組みについて、取り組み内容を項目に分けて記載するなどし、取り組み内容が分かるように記載してください。(文字数制限無し)</p>
(6) 補助事業終了後の 5 年計画・目標	<p>(補助事業終了後 5 年間の取り組みの予定・収支計画・目標について記載してください。特に目標については数値指標を用いるなど、具体的な目標設定としてください。)</p> <p>1 年目：○○地区保全活動○回、観光アドバイザー育成○名 2 年目：…etc</p>
(7) 本事業の実施による効果	<p>(本事業を実施することにより地域に及ぼす効果などについて、具体的に記載してください。)</p> <p>例：事業の実施により、海陽町の自然が美しい状態で守られるだけでなく、観光客の増加により、宿泊施設や飲食店も潤うことで、町全体に利益をもたらすことが出来る。</p>
(8) 返礼品として考えている物	<p>(寄附の返礼品として考えているものを、具体的に記載してください。なお、返礼品は必須ではありません。)</p> <p>※返礼品については、通常のふるさと納税と違い、純粋に活動を応援したいという思いでの寄附もあるため、お礼の気持ち程度の品を指定することも可能です。</p> <p>例：10000 円 ○○株式会社の○○ 3000 円 海陽町の自然の写真を使ったポストカード</p>
(9) 寄附者に興味を持ってもらう工夫	<p>(寄附者の興味を引くための工夫として考えている内容について、具体的に記載してください。)</p> <p>※寄附受付期間中、どうすれば寄附を集めることが出来るか、工夫を行う内容を記載してください。</p> <p>例：団体の SNS を整備し、募集期間中は随時情報を更新し、活動内容が寄附者に伝わるよう</p>



(5) 他の補助金等への申請状況 なし・あり ( ) 注2

(6) 非課税事業者等の別 ( ) 注3

(注1) 必要に応じて記入欄を増やして差し支えありません。

(注2) 過去5年間の交付実績に加え、現在申請中のもの、及び今後に申請予定のものも記載すること。

(注3) 課税事業者、非課税事業者について、以下の中から補助事業者に該当する番号を記載すること。

- ① 消費税法における納税義務者とならない事業者 ② 免税事業者 ③ 簡易課税事業者 ④ 消費税仕入控除税額確定後の返還を選択する事業者

※1 本町の担当者とのやりとりをすることがありますので、担当者の氏名・連絡先を記載してください。

※2 企画提案書（様式第1号）に記載した事業名を転記してください。

### 3. 収支予算書（別紙2）作成例

(別紙2)

収支予算書

団体名	〇〇〇〇〇〇
-----	--------

1. 事業名

平成31年度ふるさと創造事業（××××××××××）※1

2. 収入に関する事項

項 目	予算額 (円)	説 明
<b>町補助金 (要望額)</b>	<b>1,000,000</b> ※2	
自己資金	50,000	
事業収入	50,000	事業実施による料金収入 100円×50人×10回
合 計※3	<b>1,100,000</b>	

3. 支出に関する事項

費 目※4	予算額 (円)	積算内訳
報償費	200,000	講師謝金20,000円×10回
賃金	200,000	ｲﾝﾀﾞｰﾄﾞ臨時雇賃金 5,000円×4人×10日
旅費	100,000	講師旅費 交通費 5,000円×10回 宿泊費 5,000円×10回
需用費	300,000	消耗品200,000円 リフレット100,000円
役務費	40,000	荷物送料 1,000円×40回
使用料及び賃借料	200,000	会場使用料 5,000円×10回 機器リース料 30,000円×5月
原材料費	60,000	木材・セメント代
合 計※3	<b>1,100,000</b>	

※1 企画提案書（様式第1号）に記載した事業名を転記してください。

※2 **ここに記載する金額が、補助金の要望額になります。**

※3 **収入の合計額と支出の合計額は、必ず一致させてください。**

※4 費目は、『海陽町ふるさと創造戦略補助金応募の手引き【ふるさと創造事業】』6ページの『10. 補助対象経費（1）補助対象経費』の費目区分を参考にし、本事業にかかる経費を区分して作成してください。  
不要な経費区分は、記載する必要はありません。

#### 4. 構成員名簿（別紙3）作成例

(別紙3)

構成員名簿

団 体 名	○○○○○○
-------	--------

  

役職名	氏 名	生年月日	性別
(代表者) 代表	△△ △△	昭和○○年○月○○日	男
○○	○○ ○○	昭和○○年○月○○日	女
○○	□□ □□	昭和○○年○月○○日	男
○○	▽▽ ▽▽	昭和○○年○月○○日	男
○○	△△ △△	昭和○○年○月○○日	女
○○	○○ ○○	昭和○○年○月○○日	女

※必要に応じて記入欄を増やして差し支えありません。

## 5. 誓約書（別紙4）作成例

（別紙4）

### 誓約書

1. 申請者「○○○○○<sup>※1</sup>」は、次のいずれにも該当しません。

- (1) 宗教活動を目的とする団体
- (2) 特定の公職者（候補者を含む。）又は政党を推薦、支持又は反対することを目的とする団体
- (3) 海陽町暴力団排除条例（平成24年条例第20号）第2条第1号に規定する暴力団、同条第2号に規定する暴力団員若しくは同条第3号に規定する暴力団員等の統制の下にある団体その他反社会的活動のおそれがある団体
- (4) 町税に滞納がある

2. 上記の事項について、当該事業の所管課担当者が関係部署に照会し、個人情報を読覧することについて同意します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

令和○○年○○月○○日

申請者 住 所 海陽町○○字○○××番地

団体名 ○○○○○<sup>※2</sup>

氏 名 △ △ △ △ 印

※1 企画提案書（様式第1号）に記載した団体名を転記してください。

※2 誓約書は団体名及び代表者名で記載してください。